平成31年2月6日

福島大学附属小学校教諭の 文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞について

福島大学 附属小学校 紺野 純 教諭が、「平成30年度文部科学大臣優秀教員表彰」を受賞し、平成31年1月15日(火)授賞式にて文部科学大臣より表彰されました。

紺野 純 教諭は、10年間の公立小学校経験を経た後、平成24年度から本校に勤務しています。その間、教育研究部長や学年主任を歴任し、本年度は主幹教諭として学校運営の中核を担っている教員です。子どもたちへの深い教育愛と教育に係わる者としての強い使命感・自覚をもち、大学附属学校としての「教育研究校・地域モデル校・教育実習校」の使命を果たすべく、学校教育充実のため献身的に勤務してまいりました。

特に、生活科教育に関する理論的・実践的研究に意欲的に取り組み、授業公開、全国規模の研究会等での発表、図書や雑誌の執筆等を通してその成果を県内外に発信してきました。

中でも、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故後、屋外での教育活動が制限され、活動再開に不安が大きい中、児童期における自然体験や屋外活動の大切さを考え、関係機関と連携を図りながら、保護者や児童の安心・安全を確保しながら取り組んだ生活科の授業実践は、震災後、県内の生活科をリードする授業として高い評価を受けております。

また、県教育委員会や県教育センター、市町村教育委員会、県小学校教育研究会等が主催する研究大会や授業研究会、各種研修会等において講師として指導助言や講演等を依頼されることも多く、児童・学校・地域の実態に応じた具体的な指導、実践的な研修の企画を行うなど、今後さらに本県の教員研修充実の牽引的役割として大いに期待されているところです。

これらの意欲的な取り組みの姿勢が、他の教員の模範となる者と認められ、このたびの受賞に至りました。

(お問い合わせ先)

福島大学附属小学校

副校長 おおいし まさふみ
大石 正文

電話：024-534-6441